

互いに相手を絶対に許さないトランプとトランプ起訴派、 どうなる？

Greatchain

August 16, 2023

このあり得ない事情についてまず、Infowars と RT による、2 つの記事の書き出しを読んでいただきたい：——

トランプ弁護士団：ジョージア州の起訴は「この起訴事実全体と同じ欠陥があり憲法に反する」<https://www.infowars.com/posts/trump-attorneys-georgia-indictment-as-flawed-and-unconstitutional-as-this-entire-process/>

前米大統領ドナルド・トランプの弁護士団は、ジョージア州 Fulton 郡の地方検事 Fani Willis による、火曜日の午前から夜遅くまでかけた起訴に応じて、それは「この起訴事実全体と同じ欠陥があり憲法違反だ」と言った。

彼らの声明全体——Drew Findling, Jennifer Little, および Marissa Goldberg による——は次の通り：

「きょう展開された出来事は、ショッキングで馬鹿げたもので、それはある想定された、早まった起訴から始まっており、これは証人が証言する前のもの、あるいは大陪審が協議する前のもので、地方検事がどんな説明も提供できない状態で終わっている。この大きな不手際から考えると、フルトン郡の地方検事の事務所は、明かにこの 98 ページの起訴状を、遮二無二、押し通そうと決意しているようだ。この一方的な大陪審の提出物は、自分の個人的で政治的な利益を抱く証人たちに依存したもので、そのある者たちは、告訴に逆らって言い分を通そうと運動しているか、あるいはその結果として、帳簿の書き換えや雇用機会から利益を得ようとしている。我々はこの起訴状の詳細な検分を楽しみにしている。それは明らかに、この訴訟事実全体がそうであったように、欠陥だらけで憲法に反するものである。」・・・

トランプがさらなる犯罪事実によって頬を叩かれる——

新しい訴訟事実が、前のアメリカの検事長に加えられた 18 人の被告を動員

<https://www.rt.com/news/581279-trump-georgia-felony-indictment/>

ジョージア州大陪審が、前アメリカ大統領ドナルド・トランプを、41 項目の犯罪事実で起訴する決定をした。これは彼が、2020 年大統領選挙戦で、票数の不正を働いたとする、重罪を言い立てるものである。

彼の現在の、あるいは以前の盟友たちの何人かも訴追され、前にトランプの弁護士を務めた、前ニューヨーク市長ルーディ・ジュリアーニも、そこに含まれている。・・・

これは事情を知っている我々から見れば、まさに驚天動地、言語道断の出来事である。RT (後者) でさえこれを大きく扱うのは、これが信じられないほどのものだからであろう。

トランプは「100 パーセント自信がある」と言っており、この点については、トランプとプーチンとアレックス・ジョーンズは、完全に一致すると思う。彼らは**死んでも譲歩はしない**であろう。彼らはそれぞれが**宗教的信念**をもっている。アレックスの怒り狂った、しかし正確に事実を把握した情勢分析を、我々は可能な限りもっと聞くべきである。(日本の指導者は、彼を単なるキチガイと言いたいかもしれないが ...)

そこで、8/6 に紹介したトランプの言葉をもう一度見ていただきたい。彼はこういう (考えられない) やり方を選ぶ者たちは、「**ただ一つのメッセージしか持たない——それは恐怖だ**」と言っている。そしてそれは「私にも、私を支持するあなた方にも同じように起こる」と言っている。

それはどういう意味だろうか? 「メッセージ」も「恐怖」も尋常の意味ではなさそうである。私はこれを、追い詰められた者の最後の脅しと解釈する。そしてこれは極度に恐ろしい。

この者たちに、どうしてそういうことが可能なのか? それは前にも言ったように、まれに見るサイコパス、ナルシシズム (アメリカ例外主義、思い上がり)、それにサタン信仰 (共産主義) が条件として、揃っていなければならない。

彼らの恐ろしさとして、私がイメージするのは、カラスを駆除するために畑に吊るされた、カラスの死骸である。カラスは賢明だから、その「メッセージ」を理解するだろう。そしてそこにはカラスでなく、吊るされた人間が入る。それは鉄砲や刀で我々を殺すのでなく、もっと巧妙な心理作戦が行なわれる。それは武器による脅しでさえなく、その「恐怖」は

気づかぬ間に我々を洗脳し、我々がそのメッセージに気づかなければ、よくないことが起こると、何となく判断できるように仕向けていく。我々はトランプを諦めなければ、不幸なことが起こるように、巧妙にマインドコントロールされている。

昨夜 (8/15) の NHK 特集番組のように、「やはり戦争しかないのか」と若者を誘導するように、世界の最高支配者が、密かに仕組んでいると考えていいだろう。「メッセージ」は無言であることが最も恐ろしい。

なお、あの番組で、日本へ来ているウクライナ人女性が、人間の生き方について「物理的に生きるか、意味のある生き方をするか」の選択を問うていたのは、現ゼレンスキー政権下で生きる生き方を言っていたのだと思う。悪いのはロシアだけというメッセージしか受けていなければ、それは理解できなかったはずである。

参考資料 1 : 「ゼレンスキーがウクライナのネオナチ指導者を訪問」 ——
ウクライナ大統領が、ドンバスのどこかに隠れている、アゾフ大隊創始者 Biletsky を
訪問 <https://www.rt.com/russia/581278-zelensky-azov-neo-nazi-biletsky/>

参考資料 2 : 「ゼレンスキーが浮かれ騒ぐウクライナ人たちに激怒 ——
〈戦争に裂かれた〉国でパーティをやるとは何事だ」
<https://www.infowars.com/posts/zelensky-chastises-ukraine-revelers-as-footage-emerges-of-parties-raging-in-war-torn-country/>

ウクライナ大統領ウォロジミール・ゼレンスキーは、彼の国家内でパーティをやったり、浮かれ騒いだりする者たちにひどく怒った。彼らは、ウクライナがロシアに対して生き残りの戦争をしているという物語を覆す者たちで、対外的に彼の不利を招いている。

——以上